

# 公民館だより

元・7  
由良地区  
公民館

## 高齢化社会を生き抜くために（第六回）

### 第七章

(4) ①、② ③ ④ 場、  
部府、組教、生高、たユ、テの学養力、座済関  
組と生織育生涯齢高教、共レ情確報保の講  
織市涯に関涯教者齢育夕同ビ講座、  
に教よ係教育の者のと学・媒  
よ計育ると育のたの推電習ラ体  
る画連推行推進め学進話のジを通じた教  
推の絡進政進の習  
進会体、会体学相  
体合議制民議制談  
制性への間機仮整談  
文整を仮整機開称備窓  
責備図称備窓をの設置  
・小松の設置

(3) ①場、  
②、③ ④ 場、  
部府、組教、生高、たユ、テの学養力、座済関  
組と生織育生涯齢高教、共レ情確報保の講  
織市涯に關涯教者齢育夕同ビ講座、  
に教よ係教育の者のと学・媒  
よ計育ると育のたの推電習ラ体  
る画連推行推進め学進話のジを通じた教  
推の絡進政進の習  
進会体、会体学相  
体合議制民議制談  
制性への間機仮整談  
文整を仮整機開称備窓  
責備図称備窓をの設置  
・小松の設置

の講経

※ ふれあいを深め 福祉のまちづくり

とすととて頃り勤主場  
しのあをが諸い、生が皆め主事を  
ま進と生で活く今涯と様事を  
す展にかき動た日学うがせ在辞  
。をなしまのめの習ごたて職めこと  
祈りてし中に変のざのいおた年せに  
念まいたで個化時いおた年せにな  
ししき、い々の代ま陰だ間てなり  
筆たた新ろの激としあと感ま不  
をがいしい学しもた。謝しなまし  
おもいろ習いい  
か公の職と社の社わ  
せ民と教大会れ  
て館思でてさへて  
い活動てこいをて  
だのいれた公生  
くます。ここま  
こと。

と咲きだす頃となつてま  
と梅雨いり宣言もだされ、紫陽花もちらほら

### ごあいさつ

中西俊夫

(2) ①高、  
高、ロイ、ニ、ハ、  
齡学、学各、  
者級学校自公施と京公館域の体人度望の乳幼児の個別提  
講校校施治公員設連都民のの学激のクのに実施や青少  
対座機施設分館会館振社習機成ブ充じと再のの開の共設織  
象の能設の館のの組備し生施興会機社地  
と地  
はじめ各種グルーブを派遣する「人材銀行  
ロイ公、齡變、レ、活、が高策る情図  
齡学、学各、  
者級学校自公施と京公館域の体人度望の乳幼児の個別提  
講校校施治公員設連都民のの学激のクのに実施や青少  
対座機施設分館会館振社習機成ブ充じと再のの開の共設織  
象の能設の館のの組備し生施興会機社地  
と地  
はじめ各種グルーブを派遣する「人材銀行  
高、ロイ、ニ、ハ、  
齡学、学各、  
者級学校自公施と京公館域の体人度望の乳幼児の個別提  
講校校施治公員設連都民のの学激のクのに実施や青少  
対座機施設分館会館振社習機成ブ充じと再のの開の共設織  
象の能設の館のの組備し生施興会機社地  
と地  
はじめ各種グルーブを派遣する「人材銀行

(1) ①生、  
②、③ ④ 生、對あやを  
ロイ公、齡變、レ、活、が高策る情図  
齡学、学各、  
者級学校自公施と京公館域の体人度望の乳幼児の個別提  
講校校施治公員設連都民のの学激のクのに実施や青少  
対座機施設分館会館振社習機成ブ充じと再のの開の共設織  
象の能設の館のの組備し生施興会機社地  
と地  
はじめ各種グルーブを派遣する「人材銀行

## ごあいさつ

船野 和雄

お中のす三重主、よ公力西任務のこなるの々事社り民この添様をと推断どをうとされ、おな会的は主たる事に申し、文至つて申しあげおな粗ご指館名運營審議会ありましまし、お願い申しますが、その能が教養あります。また、その向ふをよりいたしまして、おめでたうござります。おまけに、おめでたうござります。

### ※ 高齢化社会に住みよい まちづくり啓発標語

- ◎ 助け合う心が実る里づくり、
- ◎ 高齢化知恵出し合って楽しいまち、
- ◎ 豊かさをみんなで守ろうよいまちに、

(1) 中坂岡、平成元年会議開幕式  
中藤山升、四藤山藤山大中、西下本運成会  
吉貴伊長、孫平功審議會  
吉之美正榮寿秀左太清隆房衛郎一幸雄門  
由由栗由学前市上下港浜、宮脇由良地区委員会  
良田良識公議石石野路、本小順不公民・小館敬称略  
老婦中小経民会浦路、供友人学校自自学業員長、連合會長  
供友人学校自自治治治治議會會長  
会者長員治治治議會會長、連合會長  
連絡協議會長

部部文(2)  
員長化、部幹事  
中中小、西村谷一、清富一郎、治美郎、雄  
講習男抗大会式フ大伝競岳走登山、由良岳、良田正一、高橋一正、奥野酒竹田彰、清茂

体育部  
長  
藤中糸山山竹岸藤口訓久  
本西井田田内田史伸久善徹義秀代子枝男男行樹

(1) 平成元年度行事計画  
藤中糸山山竹岸藤口訓久  
本西井田田内田史伸久善徹義秀代子枝男男行樹  
中林岸山矢西田元野副  
き篤久善副  
ぐ子剛紀記部長  
代

二、(1) 平成元年度行事計画  
⑩⑨ ⑧⑦ ⑥ ⑤④③ ② ① 公文部  
史無自四同文盆高一由年民化部  
跡形宮治部婦和作化踊齡六良三館部  
め文津学対入学品祭り化月を回だ  
ぐ化市級抗会習展大懇月を回だ  
り財政団と会、会談か考へより  
保と二碁共婦会らえ七月の  
十存由月大催一人十八月、毎月一月、  
月会良十会月会一月七月一月、  
下づニ二バ月ニ月第土十行  
旬農く日ニ十ザ十十、二曜二  
予閑り月一月一二三九土座月  
定期四日日日月曜談、  
日日夜日会三月  
日曜月一回)

## 報告二

(2) 成人式  
⑦ ⑥⑤④ ③②①、四市第一体育部  
ゲ第四由四市第一体育部  
ト二十部良青一部地二部  
ト十月回対区年般対区十部  
ホ四四抗民男男抗対四  
ト一日部綱運子子球抗回  
ル対引動軟ソ技駅由良岳、登高岳  
講習女バ会野ト会競走登山、由良岳、高橋一正、奥野酒竹田彰、清茂  
会各レ九球ボルト大会  
予チボ一三ルト大会  
定ムル予大定会

立由に当事當明子八、  
派良宮日故日兩さ時第  
な岳津はなは分ん四二  
マのグ宮く快館の十  
ナ空ル津下晴長指分四  
缶1、山にさ導小回  
になア舞す惠んで学由  
感どの鶴れるまの準校良  
謝集方方れ引備グ岳登  
しめ々面八率体ラ登  
おてはか十で操ン山  
礼下ビラも七出、ドに四  
申山ニも名発石に四  
ししし参加が参加、全員  
上テく袋あり、  
上げる参特岸垣田泰

(小松)

## 報告一





由良山椒大夫伝説の周辺歴史と文化財その三

みど入は官、たのり、と山前いよしそし椒回とう、のて大は思な遂山側夫、いもに椒面の説まの此大に人経すで處夫つ間節。あにがい像等つ定蜀てのにた住椒考莊語のす商え官らかる人て・れにとみ莊てつ至しま司いってし又るてた由たは内考過良。そ容え程に今のかては出回代ら

の事めめ。の、るものそ特にた寺代を、に出代手訳、料れ産は頃社そ官すそ、先官にに自とも物自、或のはるれ近でに入い分し、も給人い昔者を隣は命れかのて荘あ自びは、そが納の、じたず領送園つ足と權由の必めムそていそ内ら領たのの門良下要るラうそとのにれのにも生貴の人でよをいれ考ほ産で下達の活族地のあう廻うをえかすいでいではのを中心につ領都たにるたはああ、荘含かた勤て家合も自品の領りりム園めらのめそのすの分物で家まなラなて、或での求るが達だすへせがをど、いす。品めよあがけ。のんら单がまは。そ物にうれ必に領年。位存だ心荘うを應要ば要頼家貢しそに在諸き司い買す求、とつに・かの原し所いやういるす出思てし公し地則てにたそ仕集たる先いいて事、の的い、

てさ続へ村へもをせ其ものは、り利ばしまし方その蜀村旅益つ、そわけ、邑泊魅利ま処石石、山までかたでたがの土椒を程をた家れして新ニ浦力しすで浦代先椒しあり。し、生地商根も得も政ぞいい猿於二のた。間にをす大たりでこそ、そ産での拡伸、のをれ分た楽テ於あ舟こ料関納、夫。なのの当の地商一地び漸が支の限山記日テる運のがとめそがえ莊を椒、夜年土の由徵いなの商る園築大、ヲ月地便良収うけ入用單もき夫と過ヲでがはさ小れ口の位、まもいシ送しあ製れ字ばでたでそす、うテリたり塩てがなあめある。長よ苗テ。だい残りるにあり領者うマ定此山けたつま関、となルマ処椒でこてせで由よ行所レを大などおん、良ば商ナル本夫くをりで関へれのシ宿拠に、う、し料入る生。ナとと海か当たといに活、シしつやが時。しるふを。てて川わ、今までにあ有るまにまる、そた山の利

※参

「東へ教加丹考洋佐育佐後文々社郡田書庫木歴誌辺版銀史」府  
「弥新著書猿樂記」、「日本商人の源流」  
（平凡社）

な人てと出財た要がてぐ営務園す荘能要そつ層いを自に、件一きれ觀の業が園ななのたのませの明自を般てた念重務、押莊閑莊も一し官分る然み化い人を要を年領司心園の人たと限いのたしたを有な経貢か・事のでと。すを商成すての得し部營。ら代で經へあし由る成人行こくでる、分と公護官あ營平ろて良例し的きとるあこ錢でし事るをりを。うのが、階でのとりと勘あて錢武持ま輕元。由山見借層あで、まが定る成の強つし視良椒ら上、りきこす求にこ立徵、こたすの大れ的或、るう。め長とた収接と。る地夫る活い各人い年られもせ。抄にそこのもよ動は地材う貢れ、否る納も心れと。莊、うの、のの莊・る理定こ進勿をでの司こにて山莊登司公こ財でとと論配、でうなき僧園用・事とのきが共でり出き小谷代しつる・でも代のに能ずそにあま先な官たて人山、官錢なに、の、りしにいと商きび伏理まの納つす経職莊また有重。

来まるす三、うたた達商なの料山にて場、てヒかな不あれを農最るつ行が回五な、でが品も他を椒五最が鎌行トけら可つま命民初入て商、ほ日者必し、流の納大日も出倉なもるな欠たすじ。はび來人此ど市も要よ錢通を物め夫市近現時う必必要。産も山し農日も入そにかいま應がや拠に並仮、へ丹るももでがそ物知椒、業帰出びのはれうつじ、錢点入べ小莊現後よ中存ああのはれ大請民え入と土、たのて駄袋とれて屋園大へう期在りつた何な夫負のりりに地周三はいは馬をして取をの江由にし、ためといもわ中位しまで辺斎、た、持てい引建用町良ななてそしにし。そせかのてじ獲の市月に護人ちのたきて務の川るりいう、はて特うるら小いつれ農での達衛足、市のし、と内筋がまたいそ、もにいこ選規たてた。あ、いのな規にか、運し、すのうう近手食うと出模の、も山つ五あ兵ど模はも塩んでがの丹とで仕いくに塩階もしので莊の、た、り士をの、知やで此あ市波、す事うの入の層あて行す園を漁とのまを従大これそき廻りとの全。を品市れよのつ、商の持村思つせ連え小うまのたにまし方国。兼物場なう出たそ人用つかわくんれていせ他蜀来てか的業をまけな身との務でられ日。た、あうん必椒てたはらにと扱でれ日者思用あで集來ま、よまつ入。要そ市。見市

お知らせとお願ひ

一、新刊書が入りました、紙面の都合で紹介  
で、下さりません。里センターの図書室までご足  
労下さい。

て原さ由、下稿川い良公  
さ用柳。の民  
い紙なそビ館  
。へどのジだ  
四な他ヨよ  
百どとのンりの原稿  
字投感想つ  
詰稿想つ  
)お稿  
四待ごて募  
枚ち意お集  
以し見、え  
内て、位い俳を  
でま句おて  
ます、寄  
と。短せ  
め歌下